

18

Mon 月曜日

# しゅくふくの はしに なるう

ていこくのせいこう  
定刻祈りに成功したらチェックしよう

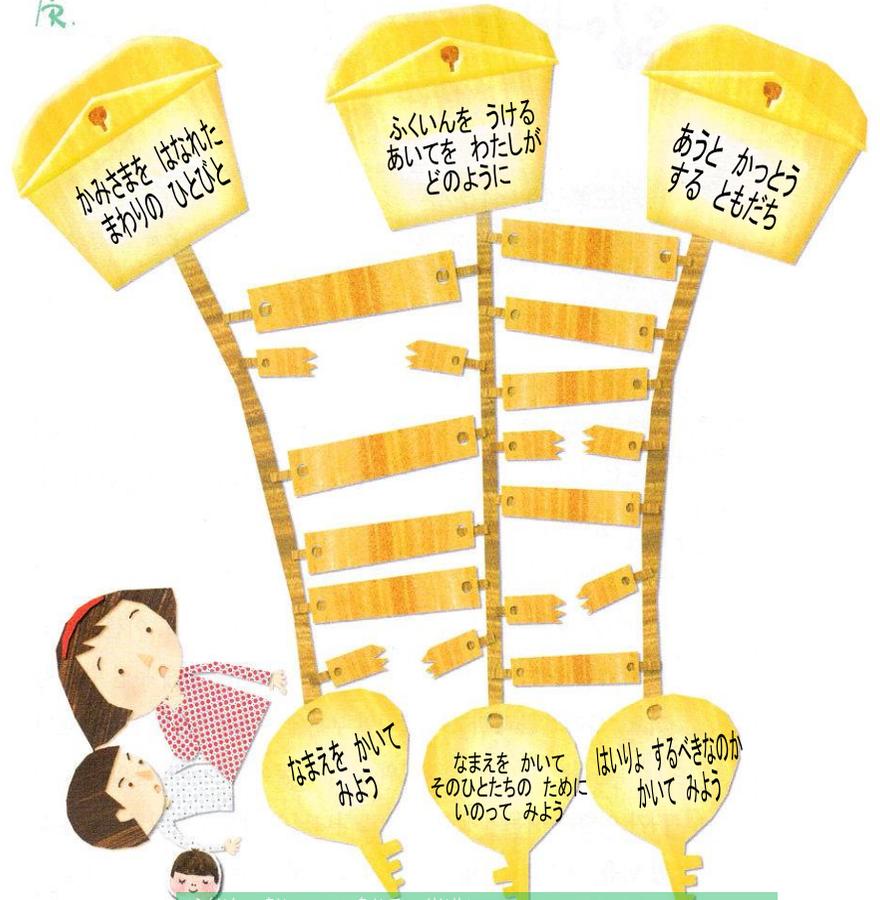
使 1:1~2

わたし まえ しょ おこな はじ おし はじ  
テオピロよ。私は前の書で、イエスが 行い始め、教え始められた  
すべてのことについて書き、お選びになった使徒たちに聖霊によ  
つて命じてから、天に上げられた日のことにまで及びました。

専門宣教局メッセージ / 2011. 3. 22

「ポキッ…メリメリ」創世記3章の事件以後に、世の中は数多  
くの葛藤に、すべての関係が切れています。そのうちでも神様  
と人との関係が切れて、人と人の間の関係が切れています。  
神様は切れた関係をつないであげる橋わたしの役割をする人  
を喜ばれます。イエス様は神様と人の間をつなぐ橋になっ  
てくださいました。イエス様のように、神様と人をつな  
いであげる橋わたしの役割する人を伝道者と言います。私  
たちはどんな伝道者にならなければならないのでしょうか。  
神様に会う道であるイエス様を愛する者にならなければなり  
ません。それとともに、福音を受ける相手を配慮する(=相手  
のことを考えてあげる)べきです。葛藤はとにかく自分の  
主張だけが正しいと自分の利益だけ言い張るから発生する  
のです。相手の立場も考えて、関心を持って助けてあげれば、  
葛藤も消えて福音も自然に伝えられるのです。

はしごをつたって行ってみよう



福音を愛して、相手を配慮するレムナントにならせて  
ください。そして、神様と人、人と人の間をつなげ  
る祝福の橋にならせてください。イエス・キリスト  
のお名前によってお祈りします。アーメン。

## なくしたことをさがして...

ていこくの せいこう  
定刻祈りに成功したらチェックしよう

## 使 2 : 41~42

そこで、彼の<sup>かれ</sup>ことばを受け入れた<sup>う</sup>者は、バプテスマ<sup>い</sup>を受けた。  
その日<sup>ひ</sup>、三千人<sup>さんぜんにん</sup>ほどが弟子<sup>でし</sup>に加えられた。そして、彼ら<sup>かれ</sup>は使徒<sup>かいた</sup>  
たちの教え<sup>おしえ</sup>を堅く<sup>かた</sup>守り、まじわりをし、パン<sup>ま</sup>を裂き、祈り<sup>いの</sup>をして  
いた。伝道弟子メッセージ / 2011. 3. 22

私<sup>わたし</sup>を通して学校<sup>がっこう</sup>で弟子<sup>でし</sup>が起きたらどうでしょうか。考<sup>かんが</sup>えるだけ  
でも顔<sup>かお</sup>がにこにこするでしょう。ペテロ<sup>ふくいん</sup>が福音<sup>の</sup>を宣<sup>つた</sup>べ伝えたとき、  
三千人<sup>さんぜんにん</sup>の弟子<sup>でし</sup>が起きました。だれでも、なくした部分<sup>ぶぶん</sup>を見つ  
ければ、ペテロ<sup>ふくいん</sup>のような答<sup>こた</sup>えを味<sup>あじ</sup>わうことができます。

私<sup>わたし</sup>たちはすでにイエス様<sup>さま</sup>を信<sup>しん</sup>じる瞬間<sup>しゆんかん</sup>から、すべての問題<sup>もんだい</sup>が  
解決<sup>かいけつ</sup>されて、もう私<sup>わたし</sup>たちの目<sup>め</sup>標<sup>ひょう</sup>は世界福音化<sup>せかいふくいんか</sup>という契約<sup>けいやく</sup>に定め  
られました。今<sup>いま</sup>は神<sup>かみ</sup>の国<sup>くに</sup>だけ味<sup>あじ</sup>わえば良いのです。神<sup>かみ</sup>の国<sup>くに</sup>をどの  
ように味<sup>あじ</sup>わえるでしょうか。私<sup>わたし</sup>たちのからだと心<sup>こころ</sup>と霊<sup>れいてき</sup>的な部分<sup>ぶぶん</sup>  
でなくしたのをさがしだせば良いのです。運動<sup>うんどう</sup>でからだの力<sup>ちから</sup>を強<sup>つよ</sup>  
くしなければなりません。からだ<sup>びようき</sup>が病<sup>びようき</sup>気だと、心<sup>こころ</sup>の力<sup>ちから</sup>を受ける  
のがむずかしいためです。そして、神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>のみことばを黙<sup>もく</sup>想<sup>そう</sup>すること  
によって、ゆううつな心<sup>こころ</sup>、無<sup>む</sup>気<sup>き</sup>力<sup>りき</sup>、傷<sup>きず</sup>など心<sup>こころ</sup>の病<sup>びようき</sup>気を直<sup>なお</sup>すこ  
とができます。黙<sup>もく</sup>想<sup>そう</sup>で力<sup>ちから</sup>を受ければ、御<sup>おん</sup>使<sup>し</sup>いが神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>の子<sup>こ</sup>どもを助<sup>たす</sup>  
けて暗<sup>くら</sup>やみの勢<sup>せいりよく</sup>力が崩<sup>くず</sup>れる神<sup>かみ</sup>の国<sup>くに</sup>が臨<sup>のぞ</sup>むようになるでしょう。

キム・ナンハ<sup>ぼくしせんせい</sup>牧師先生とともにわる しゅうかん なお  
悪い習慣を直せたらいいのに

だれでも考<sup>かんが</sup>えて行<sup>こう</sup>動<sup>どう</sup>するとき、自分<sup>じぶん</sup>だけの「わく」を持<sup>も</sup>っ  
ています。育<sup>そだ</sup>ってきた環<sup>かん</sup>境<sup>きやう</sup>と背<sup>はい</sup>景<sup>けい</sup>で、小<sup>ちい</sup>さいときから積<sup>つ</sup>も  
ってきた習<sup>しゅう</sup>慣<sup>かん</sup>が体<sup>たい</sup>質<sup>しつ</sup>になったためです。それなら、どのよ  
うにしなければならぬのでしょうか。すべての問題<sup>もんだい</sup>解決<sup>かいけつ</sup>者<sup>しゃ</sup>  
イエス・キリストをにぎって、瞬間<sup>しゆんかん</sup>ごとに神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>に祈<sup>いの</sup>ってみ  
ましょう。自分<sup>じぶん</sup>ひとりで定<sup>てい</sup>刻<sup>こく</sup>礼<sup>らい</sup>拝<sup>はい</sup>と定<sup>てい</sup>刻<sup>こく</sup>祈<sup>いの</sup>りをすれば、私<sup>わたし</sup>も  
知らないうちに霊<sup>れいてき</sup>的な力<sup>ちから</sup>が回<sup>かい</sup>復<sup>ふく</sup>されます。祈<sup>いの</sup>りは不<sup>ふ</sup>可<sup>か</sup>のう  
可能<sup>かのう</sup>にするといわれています。レムナント<sup>い</sup>の今<sup>いま</sup>の姿<sup>すがた</sup>がむず  
かしいように見えても、できないことがない神<sup>かみ</sup>様<sup>さま</sup>にひざまず  
いて祈<sup>いの</sup>れば、レムナント<sup>い</sup>を呼<sup>よ</sup>ばれた主<sup>しゅ</sup>がなしとげてくださる  
でしょう。私<sup>わたし</sup>の基<sup>き</sup>準<sup>じゆん</sup>、私<sup>わたし</sup>のレ<sup>れ</sup>ベ<sup>べ</sup>ル<sup>る</sup>ではできませんが、イエ  
ス様<sup>さま</sup>が約<sup>やく</sup>束<sup>そく</sup>されたことをにぎって挑<sup>ちよう</sup>戦<sup>せん</sup>しましょう(マタイ  
11:28、マルコ 3:13~15)

\*イ・セイ<sup>い</sup>ン レムナント・マガタラツパン教会

うんどう もくそう いの  
運動と黙想、祈りで、なくしたことを回復させてくださり、ペテロが  
あじ でんどう しゆくふく あし  
味わった伝道の祝福を味わわせてください。イエス・キリストのお  
なまえによってお祈りします。アーメン。

# もって いるかな？

定刻祈りに成功したらチェックしよう

ローマ 16:23

私と全教会との家主であるガイオも、あなたがたによろしくと言っています。市の収入役であるエラストと兄弟クワルトもよろしくと言っています。70人訓練メッセージ / 2011.3.22

「イエス様はだれですか」  
「キリストです！」

今は幼稚園に通う子どもたちもイエス様がキリストであることが分かります。多くのクリスチャンが、イエス様をキリストだと分かるのですが、生活で味わう人は少ないのです。私たちが持っているキリストを味わえば、どんなことが起きるのでしょうか。初代教会は迫害にあいました。政治家、経済人、宗教人が力を合わせてイエス様を信じる人を迫害して教会をなくそうと暴力まで使いました。初代教会の信徒は、職場から追い出されたり、殺されることさえありました。しかし、信徒たちは一つになって、さらに広くイエス・キリストを宣べ伝えたのです。持っているものを味わったので、家にいても、学校にいても、心の中にあるキリストを大胆に伝えました。そして、彼らはすべてのことを施す者たちでした。結局、多くの教会を生かすようになって福音は、力強く宣べ伝えられたのです。



初代教会の人のように、福音の力を味わって伝え、教会を生かす伝道者として育ちますようにイエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン。

私たちが持っている福音を考えながら

きれいに色をぬりましょう



# 21

○ Thu 木曜日

## 「ともに」という ためにはこ

定刻祈りに成功したらチェックしよう ✓

マタイ 11:28

すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます。  
ミッションホーム訓練メッセージ / 2011. 3. 22

「たいせつなきみ」という本を読んだことはありますか。ウイミックスという木の小人たちがいました。彼らは才能が優れてハンサムなウイミックスには金の星のシールをつけて、つまらないウイミックスには灰色のだめじりシールをつけました。パンチネロはからだ中に灰色のだめじりシールがついていました。

「ぼくは良い木の小人ではないらしい」

パンチネロは思いました。しかし、ちがうと言う人がいました。「私が君を作って、君は特別なんだ。私は決して良くない木の小人を作ったことはないよ」

パンチネロを作ったエリおじさんでした。

パンチネロがおじさんの話がそのとおりでと思ったら、灰色のシールが一つずつ落ち始めました。パンチネロが自分を作ったエリおじさんを訪ねて行ったように、私たちのレムナントは、私たちを造って救われた神様に祈りで訪ねて行けば、アイデンティティーを回復できるのです。

「たいせつなきみ」クス・ルケード (著)、セルジオ・マルティネス (イラスト)、ホーバード・豊子 (翻訳) (いのちのことば社) という本を推薦します。本の中でパンチネロを自分で、エリおじさんをイエス様だと想像して読んでみてください。特別な一日が始まることでしょう。



すべての傷と隠れている問題をイエス様の前におろして、神様がくださったまことの平安を味わわせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン。

# 22 けんこうな せいかつ

Fri 金曜日

定刻祈りに成功したらチェックしよう

ガラテヤ 2:20

私はキリストとともに十字架につけられました。もはや私  
が  
生きて  
いる  
の  
で  
は  
な  
く、  
キ  
リ  
ス  
ト  
が  
私  
の  
う  
ち  
に  
生  
き  
て  
お  
ら  
れ  
る  
の  
で  
す。  
い  
ま  
私  
が  
肉  
に  
あ  
っ  
て  
生  
き  
て  
い  
る  
の  
は、  
私  
を  
愛  
し  
私  
の  
た  
め  
に  
ご  
自  
身  
を  
お  
捨  
て  
に  
な  
っ  
た  
神  
の  
御  
子  
を  
信  
じ  
る  
信  
仰  
に  
よ  
っ  
て  
い  
る  
の  
で  
す。  
伝道学メッセージ / 2011.3.26

ドイツの哲学者ショーペンハウアーは「健康ならばすべてのこと  
が喜びの種になって、楽しみの源泉になる」と言いました。それ  
だけ健康が重要だということです。

一般の人がよくわからない霊的な健康が回復するためには、イエ  
ス・キリストが私たちの主人になれば良いのです。罪とのろい  
の下にいた私たちは、イエス・キリストとともに十字架につけ  
られました。それでは、なにもしなくてキリストだけ見上げてい  
なさいということでしょうか。生活でキリストを信じる信仰で生  
きなさいということです。すべての環境でキリストを信頼する  
とき、神様が私たちの心と考えを守ってくださいます。そう  
すれば、当然、健康な精神が回復するでしょう。私たちのから  
だの健康も重要です。それで、節度ある生活と運動で人生のリ  
ズムを持つようにしましょう。花びらに水滴がプルッと弾むよう  
に、軽快で調子よい伝道者の生活をする事ができます。

三つの部分で健康状態をチェックしましょう

レムナントのけんこうチェックひょう

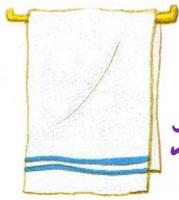
チェックしない	チェックすること	けっか
からだ	1. うんどうすることが好きですか(はい、いいえ) 2. ちか(なら) あるいはあるいていきますか(はい、いいえ) 3. まいにち 起きてきな うんどうを していますか(はい、いいえ)	■ ■ ■
せいしん	1. だれかに ひはん されたら じぶんを はんせい しますか(はい、いいえ) 2. なにかを するときに ちやうど あきらめないで さいまで ちやうぜん しますか(はい、いいえ) 3. ほかの ひとの ことを よく かんがえて あげていますか(はい、いいえ)	■ ■ ■
たましい	1. キリストが ほんとうに わたしの しゅじん ですか(はい、いいえ) 2. みこころを よんで ぎくことが 好きですか(はい、いいえ) 3. まいにち、いのるしんが ありますか(はい、いいえ)	■ ■ ■

(※)はいが 3に けんこう ■, 2こまああ ■, 1に きけん ■

すべてのことにキリストを主人として告白する健康なレムナントにならせてください。イエスさまのお名前によってお祈りします。アーメン。

23

Sat 土曜日



## かね あら お金を洗わなくちゃ!

おはなし黙想 4

ていこくのせいこうにせいこうしたらチェックしよう



「もう部屋の片づけは自分でしなさい」

「ご飯を食べたら、はみがきをしなさい」

「くつしたは、まっすぐに脱ぎなさい」

ママはメイに小言だけを言います。小言の内容も変わりません。メイが簡単に習慣を直さないからです。メイは、ある日、ママのことばをよく聞くと心に決めました。なぜなら、一度ついた習慣は、一生直しくいという話を先生から聞いたからです。学校から帰ったメイは、くつをきちんと置きました。メイは、自分の行動が立派でにっこりしました。メイを見たママが大きな声で言いました。

「学校から帰ったら、お金を洗いなさい」

メイは、首をかしげました。メイは洗面所に行ってポケットにある50円玉2個を洗いました。今日、ママの言うことは変だったのですが、口ごたえしないでママの言うとおりにしました。ひさしぶりに、ママのことば聞いたとほめられると思いました。

「ママ、ここにお金を洗ったよ」

ママは、突然うろたえて笑いました。

「お金をなんで洗うの？手を洗いなさいと・・・」

メイは、自分が聞きちがえたことを知ってはずかしくなりました。

せっかく習慣を直そうと決心したのにね。

はじめてだから、こういう誤解もあるでしょう。

誤解をしたのですが、ママはメイが

ママのことばを聞こうとしたという事実におおきよろこびました。

